

バックエンド サーバがダウンすると、ESA への着信メッセージはどうなりますか。

目次

[はじめに](#)

[バックエンド サーバがダウンすると、ESA への着信メッセージはどうなりますか。](#)

[関連情報](#)

概要

バックエンドサーバがダウンしている場合 Cisco E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) の着信メッセージがどうなるかこの資料に記述されています。

バックエンド サーバがダウンすると、ESA への着信メッセージはどうなりますか。

メール・サーバ (Microsoft Exchange、Lotus Notes) が失敗した場合、着信メールは ESA で並べられます。

メール・サーバが再びオンラインになれば、ESA 再開は配信を E-メールを送ります。ESA はバウンス プロファイルで行われる設定に基づいてキューでメッセージを保ちます。

デフォルトで、メールは 72 時間 (259200 秒) または 100 つの再試行元の送信側に跳ねる前に並べられます。

この設定は CLI コマンド `bounceconfig` の使用によって設定可能で、既定値のプロファイルを編集します。これはまた GUI からネットワーク > バウンス プロファイルへによって行くことされ、既定値のプロファイルをクリックします。

キューはたくさんのメールがある場合充滿する可能性があります。ただし、システムがストレージ制限に達すればより多くのメッセージを提供するように、他のメール サーバによってソフト バウンス更に試みます。これは ESA がメッセージを再度受け入れるまでこれらのメール サーバがメッセージ デリバリーを同様に再試行するのでメッセージが失われて得ないようにします。

注： (カップル時間以上) 長期のメンテナンスのための内部メールサーバをシャットダウンすることを計画すれば、最良の方法は `suspendlistener` を使用して ESA の着信リスナーを中断することです。

前述のように、この場合どの接続の試みでも跳ねられたソフトで以降を再試行しました。こうすれば、ESA のメール キューはすぐにいっぱいになることを防ぐ送信メール・サーバにメッセージの保存のタスクを任せます。メッセージは失われません; ただしサービスに再び内部メールサー

バを得たら、またレジュームを使用して ESA のリスナーを再開して下さい。これはリモートホストからの配信を再度可能にします。

跳ねられたメールの指示に関する詳細については、AsyncOS メール ユーザガイドを参照して下さい。

関連情報

- [Cisco 電子メール セキュリティ アプライアンス - エンド ユーザ ガイド](#)
- [ESA/SMA がメール キューに保持できるメッセージはいくつですか。](#)
- [bounceconfig の「initial... wait」値と「maximum... wait」値の間にはどのような関係がありますか。](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)